



# 日本衛生学会

## 第85回評議員会・会務総会資料

(註:当日の質疑等を踏まえて修正済)

### 日程

2015年(平成27年) 3月27日(金)

### 学術総会会長

宮下 和久 教授 (和歌山県立医科大学)

### 会場

和歌山県民文化会館・講演会場 (2F大ホール)

1



## 報告事項

- 庶務報告 (物故会員、会員数)
- 事業報告
  - 3年間の活動の概要
  - 第85回日本衛生学会学術総会について
  - 学会賞選考委員会報告
  - 奨励賞選考委員会報告
  - 編集委員会報告
  - 最優秀論文賞選考報告
  - 広報委員会報告
  - 倫理委員会・利益相反マネジメント委員会報告
  - 新役員(理事長・副理事長・理事・監事)について
  - 若手プロジェクト研究助成報告
  - 永久会員の認定
  - 連携研究会活動
  - 2014(平成26)年度会計報告
- 決算・監査報告
- その他

2



## 庶務報告：物故会員

2014年度 (2014年3月1日～2015年3月5日ご連絡分)

### 【名誉会員】

糸川 嘉則 仁愛大学長  
2014年8月31日ご逝去

東田 敏夫 関西医科大学

### 【評議員】

安東 規雄 医療法人白鳳会 赤穂中央病院  
2014年10月30日ご逝去

### 【一般会員】

由利 卓也 医療法人社団卓和会 しらゆりクリニック検診センター  
2015年1月22日ご逝去

3



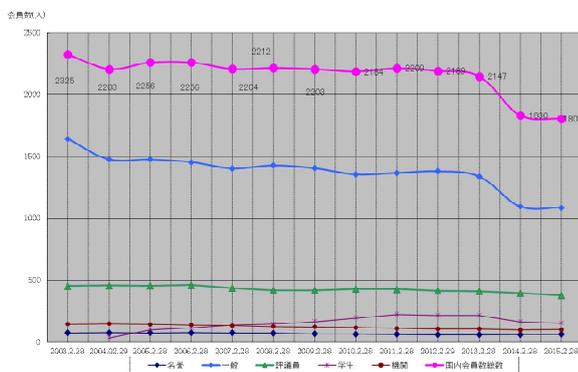
## 庶務報告：会員数 (各年3月末)

会員種別	会費	2012.2.29	2013.2.28	2014.2.28	2015.2.28
名誉会員 A	—	57	58	59	61
一般会員 B	10,000	1379	1338	1093	1084
評議員 E	12,000	414	410	397	380
永久会員 R (100,000)	—	3	5	12	17
学生会員 S	7,000	213	213	164	153
機関会員 L	8,000/4,500	103	103	95	97
招待会員	—	0	0	0	0
賛助会員 C	30,000	1	1	1	1
寄贈国内 N	—	19	19	9	9
小計	—	2189	2147	1830	1802
外国名誉会員 F	—	0	0	0	0
外国個人 D	10,000	16	16	3	3
外国機関 M	8,000/4,500	2	1	0	1
寄贈外国 O	—	14	15	1	1
特別購読会員 P	—	0	0	0	0
小計	—	32	32	4	5
計	—	2221	2179	1834	1807

4



## 庶務報告：会員数推移



5



## 事業報告 (1) 今期の執行部の活動の概要-1

(2012年4月から2015年3月)

### はじめに

基本方針：(1) 会の活動状況、ならびに学会の制度と組織のあり方、さらには健全な学会経営について、良く考え (Consider)、新たな試みを果敢に行い (Challenge)、その試みを新たな事業として創る (Create)

### A 学会の事業の見直しと新たな試み

\* 魅力的な学術総会作りへの試み：大学院生や若手研究者が参加したいと思う学術総会となるよう、下記の諸活動・措置を行った。  
 同年代との繋がりがや将来の展望がもてるよう人的ネットワーク形成の場の提供 (若手有志の会のシンポジウムや自主的交流)  
 モーニングレクチャー、ランチセミナー  
 多くの自由集会和シンポジウム公募。  
 国際性豊かな研究会 (国外の著名研究者の講演など)  
 託児所の設置

6



### 事業報告 (1) 今期の執行部の活動の概要-2

- \* 学会誌の出版活動強化と国際化  
EHPM誌と日本衛生学雑誌の**オンライン化**  
EHPM誌の**IF** (2016年夏に付加)  
China Office 編集委員メンバーの更新  
日本学術振興会国際発進力強化・Open access化助成金獲得への応募  
e-Bookの出版など
- \* 広報活動の改善：  
ウェブサイトのリモデリング；ユーザーフレンドリーな環境。  
最新情報の定期的（月2回以上）アップロード。  
メーリング機能による定期的（月2回以上）の学会情報の発信
- \* 若手研究者活性化  
若手プロジェクト（助成増額・シンポジウム化）  
「**若手研究者の会**」の発足（会則に基づく研究会）を承認

7



### 事業報告 (1) 今期の執行部の活動の概要-3

- \* 日本学術振興会の**科研費細目変更へのJSPSへの働きかけ**。
- \* JSPS学術システム研究センターの主任研究員、専門調査員の公募に対して、適切な委員が選任されるための取り組み。
- \* AMED移行に伴う厚生労働科研費問題への取り組み：厚生省大臣への要望書の提出（日本公衆衛生学会・日本産業衛生学会と共同）。
- \* **男女共同参画学協会への加盟**の承認
- \* 専門医制度への取り組み：日本産業衛生学会等とのWGメンバーへの担当理事を選任。

#### B 学会の体制改革・財政基盤の強化

- \* 「**理事は、名誉職ではなく、実務職**」：各理事が担当委員会を積極的に運営・推進する体制づくり。  
会計・企画委員会、選挙制度検討委員会、編集委員会、倫理委員会（利益相反検討委員会）、広報委員会、若手活性化委員会、学会賞選考委員会、奨励賞選考委員会、名誉会員認定委員会など  
Skype によるビデオグループ会議の導入；いつでもどこでも気楽に話合える環境の形成、機動的運営の強化、経費削減

8



### 事業報告 (1) 今期の執行部の活動の概要-4

- \* 学会執行部の**早期始動**：3月の総会の機会に新理事による理事会を開催して、新理事会の検討事項を議論し任務分担を決定（従来は7月が第一回理事会）；総会直後から、広報委員会や選挙制度検討委員会、倫理委員会などが始動
- \* **会費未納会員の退会措置**：会費納入は会員の責務の基本であり、財政の健全性を保つためにも必要
- \* **財政の改善**  
一定の年数会費未払い者の退会措置による学会組織の健全化。  
**永久会員の推挙の推進**。  
連携研究会及びChina Officeへの経常経費の見直し
- \* **会則改定**  
理事会・評議員会・会務総会の公正かつ明示的な運営のための基盤の整備。
- \* **役員選挙制度の改定**。  
理事定数、四回を独立、単記無記名投票。監事の任務の明確化、理事長選挙での所信表明。選挙制度検討委員会と選挙管理委員会の分離し役割を明記など。
- \* **利益相反マネジメント (COI)に関する細則の決定**。

9



### 事業報告 (1) 今期の執行部の活動の概要-5

#### C 今後の検討課題について

上記A,Bの事業・体制について点検し、改善と推進。

健康・環境・疾病・医療に関する国民の主要な関心事についての学会としての意見表明・放射線被曝、環境汚染(アスベスト、PM2.5等)、食品安全、健康食品、タバコ、脱法ドラッグ、メタボ健診等(他にも重要な課題があり、これらは例示)

国際化のため、日本衛生学会のカウンターパートとなりうる学会との連携。

例：産業衛生学会・・・ICOH；日本毒性学会・・・ICT

日本医学会連合、学術会議、日本学術振興会における社会医学分野の強化

中央省庁との緩やかな協働関係；厚生労働省、環境省、文科省等

10



### 事業報告 (2) 第85回日本衛生学会総会について

第85回日本衛生学会総会を2015年3月26日～28日に和歌山市において宮下和久・学術総会会長のもとで開催した。

11



### 事業報告 (3) 学会賞選考委員会報告

## 日本衛生学会 学会賞

大槻 剛巳 氏

環境からの健康影響：

繊維状粒子状物質の免疫影響と健康増進環境の構築

川崎医科大学衛生学

12



## 事業報告 (4) 奨励賞選考委員会報告

### 崔 正国 氏

環境汚染物質による発癌機序の解明と  
その予防策の確立  
富山大学医学部 公衆衛生学講座

### 小林 果 氏

もやもや病および脊髄小脳変性症36型の  
原因遺伝子の同定および機能解析  
京都大学大学院医学系研究科 環境衛生学分野

13



## 事業報告 (5) 編集委員会報告

1. 最優秀論文賞候補論文を選考した。
2. 今後は、Most Downloaded Article Awardとする。
3. 正副編集委員長、編集委員を募集中 (締切:2016年4月末)。
4. EHPM発刊の現状、昨年は年間81編を受付。採択率66%、2016年夏に impact factor が付与される。  
現在、推定値(Springer による)では1.222。  
・ 初出IF向上のため、2015年に刊行が想定される会員執筆中の論文に2013/2014EHPM掲載の論文を是非引用していただきたい。
5. 和文誌も順調に発刊中  
・ 特に2年前より掲載料を格安にしている。投稿大歓迎。  
・ 和文誌は1巻1号からJ-STAGEでフルオープンアクセス、掲載論文数も伸びている。
6. 日本衛生学会WEB内の雑誌サイトへのバナー広告を募集中。
7. 現在EHPMのスピノフ企画eBookの刊行を開始。  
それぞれのeBookのエディターを募集中。奮って応募していただきたい。  
詳細は大槻まで。

14



## 事業報告 (6) 最優秀論文賞選考報告

### 最優秀論文賞 2014

**Yuki Ito** \*, Michihiro Kamijima, Chie Hasegawa, Masahiro Tagawa, Toshio Kawai, Mio Miyake, Yumi Hayashi, Hisao Naito, Tamie Nakajima  
Species and inter-individual differences in metabolic capacity of di(2-ethylhexyl)phthalate (DEHP) between human and mouse livers  
EHPM, Vol. 19(2), 117-125, 2014.

15



## 事業報告 (7) 広報委員会報告

- 1 学会ウェブサイトのリニューアル及びメンテナンス  
2013年2月にリニューアルしたウェブサイトの細部の修正、掲載記事の確認などを実施
- 2 ウェブサイト更新、学会誌発刊のメールアラート  
更新内容について月1~2回  
EHPMおよび日本衛生学雑誌の最新号が発刊された時に「会員一斉メール」にて「お知らせ」を送信
- 3、ウェブサイトのアクセス数の推移  
アクセス数の解析のためGoogleアナリティクスを導入  
2014年6月15日から2015年1月8日までの約半年間で総閲覧数は13712、1日平均閲覧数は66  
会員一斉メール配信後に閲覧数が伸びる傾向

16



## 事業報告

### (8) 倫理委員会報告・利益相反マネージメント委員会

日本衛生学会 利益相反マネージメント(COI)に関する細則を理事会にて決定。2014年の役員選挙に適用。

倫理委員会と利益相反マネージメント委員会を別の委員会として運営を決定。

17



## 事業報告

### (9) 新役員(理事長・副理事長・理事・監事)について

理事長 小泉昭夫 (京都大学)  
副理事長 横山和仁 (順天堂大学)  
副理事長 大槻剛巳 (川崎医科大学)

理事 吉田貴彦 (旭川医科大学) 中路重之 (弘前大学)  
坂田清美 (岩手医科大学) 西脇祐司 (東邦大学)  
遠山千春 (東京大学) 野村恭子 (帝京大学)  
稲寺秀邦 (富山大学) 加藤昌志 (名古屋大学)  
中村裕之 (金沢大学) 宮下和久 (和歌山県立医科大学)  
伊木雅之 (近畿大学) 田邊 剛 (山口大学)  
菅沼成文 (高知大学) 市場正良 (佐賀大学)  
青木一雄 (琉球大学)

監事 城戸照彦 (金沢大学) 矢野栄二 (帝京大学)

任期 (2015年3月29日から3年後の学術総会終了日まで)

18



### 事業報告

#### (10)若手プロジェクト研究助成報告

宮崎大学医学部 竹内昌平氏(代表)  
「感染症の数理モデル研究の紹介」

関西福祉大学 森 耕平氏(代表)  
「健康管理における理学療法の管理」



### 事業報告

#### (11)永久会員の認定

太田 久吉 (北里大学)  
御輿 久美子 (NPO法人アカデミック・ハラスメント  
をなくすネットワーク)  
車谷 典男 (奈良県立医科大学)  
小泉 昭夫 (京都大学)  
酒井 敏行 (京都府立医科大学)  
宮下 和久 (和歌山県立医科大学)  
山内 博 (北里大学)

(五十音順・敬称略)



### 事業報告

#### (12) 2014年度連携研究会一覧

研究会名称	世話人代表	世話人代表 所属
大気環境と健康に関する研究会	武林 亨	慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室
ヒトを指向した包括的毒性学研究会	堀口 兵剛	北里大学医学部衛生学教室
遺伝子健康行動研究会	竹下 達也	和歌山県立医科大学医学部公衆衛生学教室
環境リスク研究会	東 賢一	近畿大学医学部環境医学・行動科学教室
DOHaD研究会	佐田 大宏	国立保健医療科学院
包括的感染症研究会	小林 宣道	札幌医科大学医学部衛生学講座
生殖次世代影響研究会	上島 通浩 市原 学	名古屋市立大学環境保健学教室 東京理科大学
予防実践評価研究会	萩原 明人	九州大学大学院医学研究院
森林医学研究会	李 卿	日本医科大学衛生学公衆衛生学教室
双生児医学研究会	早川 和生	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
ストレス研究会	吉益 光一	和歌山県立医科大学医学部衛生学教室
快適・安全な画像視聴に関する研究会	宮尾 克	名古屋大学情報科学研究科



### 事業報告(13)

#### 2014(平成26)年度 会計報告 収入の部

大分類	小分類	2014年度予算	2014年度決算
前年度繰越金		7,480,755	7,480,755
会費関連	会費収入(2013年度分)		
	(2014年度分)	15,960,250	11,937,000
	(2015年度分)		4,817,000
収入の部	入会金	54,000	57,000
	著者負担金	930,000	881,622
	ページチャージ	1,600,000	1,256,000
	バックナンバーおよびEHPM冊子売上金	50,000	31,332
	広告料	180,000	60,000
寄付関連	雑収入	500,000	758,047
	藤原記念財団助成金	500,000	500,000
	科学研究費補助金	0	0
	学会活性化助成寄付金	0	0
その他	寄附金	0	1,001,000
	預金利子	1,000	1,127
	雑益	0	0
	当期収入合計	19,775,250	21,300,128
	合計	27,256,005	28,780,883



### 事業報告(13)

#### 2014(平成26)年度 会計報告 支出の部(1)

大分類	小分類	2014年度予算	2014年度決算
事務局費	会議費	30,000	28,680
	旅費	10,000	62,860
	人件費	500,000	388,892
	慶弔費	5,000	16,200
	事務局経費	12,000	34,142
学会誌編集費	会議費	0	0
	旅費	50,000	70,400
	英文校閲費	50,000	48,600
	編集事務局経費	600,000	600,000
	EHPM China Office経費	0	0
理事会費	会議費	100,000	60,078
	旅費	800,000	676,894
委員会費	委員会活動費	15,000	0
	EHPMオンラインジャーナル発行費用	7,700,400	7,733,850
印刷費	EHPM冊子体印刷費	524,880	520,020
	日本衛生学雑誌オンラインジャーナル発行費用	1,890,000	2,328,714
	各種印刷費	100,000	57,240

(続く)



### 事業報告(13)

#### 2014(平成26)年度 会計報告 支出の部(2)

大分類	小分類	2014年度予算	2014年度決算
通信・発送費	学会誌発送費	100,000	50,101
	通信費	250,000	204,531
総会・賞関係費	総会補助費(研究会助成費含む)	2,800,000	2,800,000
	学会賞・奨励賞関係費	50,000	29,592
事務委託費	優秀論文賞	30,000	13,716
	ホームページ管理費	60,800	60,799
	ホームページ情報更新料	216,000	216,000
	事務委託費	3,110,400	3,103,200
その他費用	全国公衆衛生関連学協会連絡協議会会費	20,000	20,000
	一般社団法人日本医学会連合会費	125,200	125,200
	選挙費	500,000	534,446
	外部会計監査費用	0	0
	当期支出合計	19,649,680	19,784,155
繰越金			8,996,728
予備費		7,606,325	
	合計	27,256,005	28,780,883

事業報告(13)2014(平成26)年度 会計報告 特別会計  
特別会計(2014年度予算)

収入		支出	
学会活性化助成寄付金前年度繰越	3,857,360	若手研究助成金	0
		活性化助成金	400,000
		次年度繰越金	3,457,360
計	3,857,360	計	3,857,360

特別会計(2014年度決算)

収入		支出	
学会活性化助成寄付金前年度繰越	3,857,360	若手研究助成金	0
		活性化助成金	400,000*
		次年度繰越金	3,457,360
計	3,857,360	計	3,857,360

\* 活性化助成金(若手プロジェクト研究助成200,000円×2件)

25

3. 決算、監査報告  
2014(平成26)年度 会計報告 決算承諾書

26

審議事項

- 2015年度事業計画全般について
- 名誉会員の認定
- 評議員の認定
- 「若手研究者の会」について
- 男女共同参画事業について
- 2015年度予算について
- 第87回日本衛生学会総会予定地と学術総会会長候補について
- 第86回日本衛生学会学術総会会長挨拶
- 第87回日本衛生学会学術総会会長挨拶
- その他

27

2015(平成27)年度 事業計画 (全般)

- 理事会を4回開催。
- 第86回日本衛生学会総会を2016年5月11日～13日に旭川市において、吉田貴彦教授(旭川医科大学)のもとで開催。この期間中に評議員会と会務総会を開催。
- 編集委員会では、毎月の定例編集委員会メール会議を継続。機関誌の質の向上を目指して、円滑な編集作業を実施。China Officeを継続。新事業として立ち上げたe-Bookの出版を進める。バナー広告を募集。
- 広報委員会活動  
「会員一斉メール」による各種「お知らせ」については現状の活動を継続。メールアドレス非登録者や返送エラーメールに関し調査し改善策を検討。ウェブサイトの閲覧数の更なる増加や利用性の向上のために、アクセス数の解析を継続し、「会員一斉メール」以外の方法(外部相互リンク、研究助成金情報のさらなる広報など)も検討。

28

2015(平成27)年度 事業計画 (3)

- 学会賞、奨励賞、Most Downloaded Paper賞を表彰するとともに、若手プロジェクト研究の公募を行う。
- 倫理委員会及び利益相反マネジメント委員会の活動を通して、倫理面での適正な学会活動を進める。
- 文科省・日本学術振興会科研費に関する問題を引き続き検討。
- 社会医学分野の活動展開のために重要な諸事項について、関連学会や研究会との連携・共同を進める。

29

2015(平成27)年度 予算(案) 収入の部

大分類	小分類	2014年度決算	2015年度予算	
収入の部	前年度繰越金	7,480,755	8,996,728	
	会費収入(2015年度分)		11,937,000	16,036,920
		(2016年度分)	4,817,000	
	編集関連	入会金	57,000	60,000
		著者負担金	881,622	900,000
		ページチャージ	1,256,000	1,260,000
		バックナンバーおよびEHPM冊		
		子売上金	31,332	30,000
		広告料	60,000	60,000
		雑収入	758,047	700,000
寄付関連	藤原記念財団助成金	500,000	500,000	
	科学研究費補助金	0	0	
その他	寄附金	1,001,000	0	
	預金利子	1,127	1,000	
	雑益	0	0	
当期収入合計		21,300,128	19,547,920	
合計		28,780,883	28,544,648	

30

2015(平成27)年度 予算(案) 支出の部 1/2

大分類	小分類	2014年度決算	2015年度予算
事務局費	会議費	28,680	30,000
	旅費	62,860	50,000
	人件費	388,892	500,000
	慶弔費	16,200	5,000
	事務局経費	34,142	30,000
	会議費	0	0
	旅費	70,400	50,000
	英文校閲費	48,600	50,000
	編集事務局経費	600,000	600,000
	EHPM China Office経費	0	0
学会誌編集費	会議費	60,078	100,000
	旅費	676,894	800,000
理事会費	委員会活動費	0	15,000
印刷費	EHPMオンラインジャーナル発行費用	7,733,850	7,740,000
	EHPM冊子体印刷費	520,020	524,880
	日本衛生学雑誌オンラインジャーナル発行費用	2,328,714	2,000,000
	各種印刷費	57,240	100,000

31

2015(平成27)年度 予算(案) 支出の部 2/2

大分類	小分類	2014年度決算	2015年度予算
通信・発送費	学会誌発送費	50,101	60,000
	通信費	204,531	200,000
総会・賞関係費	総会補助費(研究会助成費含む)	2,800,000	2,800,000
	学会賞・奨励賞関係費	29,592	45,000
	優秀論文賞	13,716	15,000
移転費	事務局移転費		50,000
	編集事務局移転費		50,000
事務委託費	ホームページ管理費	60,799	50,000
	ホームページ情報更新料	216,000	216,000
	事務委託費	3,103,200	3,110,400
その他費用	全国公衆衛生関連学協会連絡協議会費	20,000	20,000
	一般社団法人日本医学会連合会費	125,200	124,050
	選挙費	534,446	
	外部会計監査費用	0	0
	当期支出合計	19,784,155	19,335,330
繰越金		8,996,728	
予備費			9,209,318
合計		28,780,883	28,544,648

32

2015(平成27)年度 予算(案) 特別会計 特別会計(2014年度決算)

収入		支出	
学会活性化助成寄付金前年度繰越	3,857,360	若手研究助成金	0
		活性化助成金	400,000 *
		次年度繰越金	3,457,360
計	3,857,360	計	3,857,360

\* 活性化助成金(若手プロジェクト研究助成200,000円×2件)

特別会計(2015年度予算)

収入		支出	
学会活性化助成寄付金前年度繰越	3,457,360	若手研究助成金	0
		活性化助成金	400,000
		次年度繰越金	3,057,360
計	3,457,360	計	3,457,360

33

2015(平成27)年度日本衛生学会 名誉会員候補者(全1名)

山内 徹 先生 (三重大学名誉教授)

34

2015(平成27)年度 日本衛生学会評議員候補者(全14名)

東 賢一	近畿大学	講師
伊藤由起	名古屋市立大学	講師
西川拓朗	鹿児島大学	助教
山元 恵	環境省国立水俣総合研究センター	室長
今村知明	奈良県立医科大学	教授
三宅吉博	愛媛大学	教授
荒木敦子	北海道大学環境健康科学研究教育センター	准教授
内匠正太	東京慈恵会医科大学	助教
与五沢真吾	東京慈恵会医科大学	講師
小田切陽一	山梨県立大学	教授
谷口善仁	杏林大学	教授
浜崎 景	富山大学	准教授
田中純子	広島大学大	教授
市原佐保子	三重大学	准教授

35

4. 「若手研究者の会」設立の提案-1
- これまでの「若手有志の会」を、学会会則にもとづく研究会として、「若手研究者の会」を設置。
  - 目的:  
日本衛生学会に所属する若手研究者の交流を推進することで、衛生学分野の研究を活発なものにしていく
  - 組織体制  
日本衛生学会の会員であり、会の目的に賛同し、登録した個人: 世話人を若干名を置く

### 「若手研究者の会」の主な活動内容

- 1 若手研究者を中心とした会合、研究発表会、シンポジウム、講演の開催
- 2 インターネット等IT電子媒体を用いた意見交換、情報提供
- 3 その他本会の目的達成に必要な活動

#### 会則：第19条

必要に応じて研究会を設置することができる。研究会は理事会、評議員会の議を経て、会務総会で承認されなければならない。

### 5. 男女共同参画学協会連絡会の加盟について

#### 1. 男女共同参画学協会連絡会とは

日本学術会議において2000年に「日本学術会議における男女共同参画の推進について」の声明が採択。2001年10月に自然科学系分野の各学協会が連携して男女共同参画を進めるために設立された連絡会。2015年1月現在までに87学協会が加盟。

#### 2. 本年度の経緯と分担金について

- ・本連絡会への加盟提案が日本衛生学会理事会にて承認(2014年9月)
- ・日本衛生学会男女共同参画WGの第1回会合(11月)
- ・本連絡会第13期第1回運営委員会にて、日本衛生学会の加盟が正式承認(2015年1月)
- ・連絡会より日本衛生学会自由集会后援の正式認定; 2015年度分担金の請求

⇒会員数1千人以上の正式加盟学協会は1万円/年の分担が必要

### 男女共同参画ワーキンググループの活動予定

- 1) 第85回日本衛生学会学術総会・自由集会において連絡会后援のキックオフミーティングと交流会を開催(3/26)
- 2) 男女共同参画ワーキンググループのメンバー募集とニーズ聴取
- 3) 連絡会第13期第2回運営委員会およびワークショップに参加
- 4) 第13回男女共同参画学協会連絡会シンポジウム参加(10/17)
- 5) 男女共同参画ワーキンググループ会合の開催と要望活動
- 6) 連絡会主催の大規模実態調査に関する協力体制の構築

## 第86回日本衛生学会学術総会 準備状況

旭川医科大学 健康科学講座  
吉田貴彦

第86回  
日本衛生学会学術総会  
The 86th Annual Meeting of the Japanese Society for Hygiene  
生命を衛る自然との共生

期日: 2016年5月11日(水)~13日(金)  
場所: 旭川市民文化会館  
会長: 吉田 貴彦 (旭川医科大学健康科学講座)

特別講演: 「野生生物と共生する人間の責任」  
坂東 元 旭川市旭山動物園 園長  
シンポジウム: 「自然とともに生きる暮らし」

http://www.jsh86.keav.jp

事務局: 旭川医科大学健康科学講座  
〒957-8510 旭川市東1丁目1-1  
Tel: 0156-86-2402 FAX: 0156-86-2409  
E-mail: jsh86@keav.jp

運営事務局: (株)光設整シーエービー  
〒005-0004 札幌市中央区南一条4丁目2-20  
電話: 011-271-1111  
Tel: 011-937-2126 FAX: 011-937-2212  
E-mail: jsh86@keav.jp

学会テーマ  
「生命を衛る自然との共生」

## 第86回日本衛生学会学術総会

期日 2016年5月11日(水)~13日(金)  
場所 旭川市民文化会館  
旭川市7条通9丁目

学会役員: 学会長: 吉田貴彦  
事務局: 中木良彦(長)、伊藤俊弘(副)  
杉岡良彦、菊池恵

### 主なプログラム

特別講演(市民公開講座を兼ねる)

演者 坂東 元 旭川市旭山動物園 園長

演題 「野生生物と共生する人間の責任」

教育講演

「エボラ出血熱およびデング熱アウトブレイクにみる国際感染症対策」

演者 中谷祐貴子

厚生労働省健康局 結核感染症課

### 主なプログラム

理事会 11日午前中

編集委員会 11日午前中

評議委員会・総会 12日

衛生学公衆衛生学教育協議会 11日午後

懇親会(旭川グランドホテル) 12日夜

次期学会長講演

学会賞受賞講演、奨励賞受賞講演(2)

### 主なプログラム

メインシンポジウム(市民公開とする)

日時 5月12日午後1:00-(予定)

テーマ 「自然とともに生きる暮らし」

日本の自然からの恩恵と災害

高橋浩晃(北海道大学大学院・理学)

低炭素社会構築の可能性

張 興和(旭川大学)

日本における風力発電の現状と可能性

吉田 悟(株 北拓)

自然に負担をかけない生活・エネルギー政策

吉田文和(北海道大学大学院・経済学)